#### 別紙様式2号

## 都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

#### 整備事業

産地競争力の強化を目的とする取組用

(三重県 平成28年度) 事業実施主体の 都道府県の評価 事業実施後の状況 事業実施後の状況 事業費 負担区分(円) 事業内容 \_\_\_\_ \_\_\_-成果目 標の具 体的な 市町村 事業実 施主体 成果目標の具体的 な実績 標の具体的な 成果目標の具体的な 取組の具 (円) 内容 内容 体的 1年後 2年後 3年後 目標値 計画時 1年後 2年後 3年後 目標値 な実績 (工種、施設区 分、構造、規 格、能力等) (平成 (平成 26 27 年) 年) (平成 
 (平成
 (平成
 (平成

 26
 27
 28

 年)
 年)
 年)
可回时 (平成 2 5 (平成 28 年) (平成 (平成 作物・ 畜種等 作物・ 畜種等 28年) 達成率 2 8 達成率 交付金 市町村費 その他 都道府県費 年) 県と連携し天 候、病害虫の発 生状況に応じた 指導を研修会の 開催や、JA広報 JA、県が連携し て、栽培指導や 計画時と比較し一等 現状の 誌を活用するこ 小麦作 付面積 小麦の作付推進 に取り組んだこ 米比率が41%向上し、 とで実施した。 乾燥調製貯蔵施 目標を達成した。 その結里 1等米比率が41% こ対する 販売の好調なニシノカ とで、すべての 用型作 等米比 90% 94% 80% 担い手に対する大 土地利 23% 15% オリを中心に、作付面積 向上し、目標を 成果目標を達成 伊勢農 業協同 組合 規需要 7中5平 率の向 上(27ポィ 拡大を図り、23%面積が 増加した。 荷受け一式40t/h 達成した。 需要が堅調な二 口割引等 用型作 華麺用 (120ha-131ha-(122ha-/ 中5十 均 1,105t/ 151.9% 153.3% 756,378,000円 293,793,000円 462,585,000円 H27.4.24 した。 引き続き、導入 施設利用大口割引 1,881t/ 2,250t/ 乾燥一式240t/日 1,660t 品種の 106ha 106ha)/ 106ha)/ 106ha)/ 作付面 積の割 シノカオリの作付推進に県と取 施設が適切に運用され、地域農 貯蔵量3,000t 2,069t 2,385t 2,075t 106ha 106ha 106ha 米を除 2,075t 調製一式4.5t/h 出荷一式3.6t/h 小麦割引 合の増 組んだ。生産量 業の振興に寄与 6 飼料用米割引 加(15ポ 増加に対応でき していただきた る乾燥調製施設 も整った事で、 131 h a (23%の 面積増)の作付 を実施する事が

都道府県平均 達成率	99.1%	総合 所見	平均達成率は99.1%となり、一部事業で目標が達成された。気象条件による影響も大きいが、今後も目標達成に向けて、適切な指導を行う。
---------------	-------	----------	---

- (注)1 別紙様式1号の2の に準じて作成すること。
  - 2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
  - 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
  - 4「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
  - 5「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
  - 6「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。

# 都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

### 整備事業

産地競争力の強化を目的とする取組用

																						(三重県	平	成28	年度)				
<u> </u>	市町 事業実村名 名	メニュー	成果目		事美		多の状況			成果目標	メニュー	成果目		<b>\$</b>	業実施復	後の状況	!		成果目標	事業内容	事業費			分(円)		完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
村		(対象・ 作物・ 名)	標の具 体的な 内容	計画時 (平成 24年)	事業完 了年度 (平成 27年)	2 年後 (平成 28年)	3年後 (平成 29年)	目標値 (平成 28年)	達成率	の具体的な実績	成果目標の具体的 な実績 (対象・ 作物を 名)	体的な	計画時 (平成 24年)	事業完 了年度 (平成 27年)	2 年後 (平成 28年)	3年後 (平成 29年)	目標値 (平成 28年)	達成率	の具体的な実績	の具体的	施設区 分、構 造、規	交付金	都道府県費	市町村費	その他				
御河町	三重電	果樹んつう	輸出出向荷増 加	7.8t	12.6t	15.9t		19.0t	72.3%	<b>輸出15留目になた</b> 出荷.91ま標至っ け量にり、成ら	加工向合の増加	果(きん)	0.6% (53.4t /9,025 .3t)	3.7% (267t/ 7263t)	3.7% (266.3 t/7,25 2.9t)		16.9% (1,537 .9t/9, 103.7t )	19.0%	加の増も3.3留目になた 工割加ののパシリ達至っ 付はし、に、、成ら	集 出荷設 果 かんしゅう ままま ままま ままま ままま ままま ままま まままま まままま まま	1,056,142,800	488,955,000	0	0	567,187,800	H27.8.28	引き続き、輸出扱入に関する財配を行っている。 当初は、家庭選果を機械選果に切り替えて、これまで家 庭で廃棄されていた果実を加工仕向けとする計画であっ た。しかし、家庭選果を一斉に廃止することは、生果へ の腐敗果混入等による急激な品質低下の恐れがあり、段 階的に移行する必要が出てきた。 このため、一部品種から試験実施し、検証のうえ順次、 機械選果へ切り替えを進めていくこととし、平成29年で は極早生品種「味1号」の全量を機械選果に切り替え	新たな輸出条件への対応に手間がかかったため、輸出量は直返しを行うとともに、所なな輸出を開発出する場合を必要を対して、の名は、10年の場合を必要を表して、いるのでは、10年の制度とは、10年の場合を必要を対して、いるのでは、10年の制度とは、10年の制度とは、10年の制度とは、10年の制度とは、10年の制度とは、10年の制度とは、10年の制度とは、10年の制度とは、10年の制度とは、10年の制度とは、10年の制度とは、10年の制度とは、10年の対応に対応に、10年の対応に対応に対応に対応に対応に対応に対応に対応に対応に対応に対応に対応に対応に対	

都道府県平均 達成率	99.1%	総合 所見	平均達成率は99.1%となり、	一部事業で目標が達成された。	気象条件による影響も大きいが、	今後も目標達成に向けて、	適切な指導を行う。	
---------------	-------	----------	-----------------	----------------	-----------------	--------------	-----------	--

- (注)1 別紙様式1号の2の に準じて作成すること。
  - 2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
  - 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
  - 4「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
  - 5「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
  - 6「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。